

東北歯科技工専門学校評価委員会会議議事録

場所 東北歯科技工専門学校

出席者 委員長 渡邊 奈美

委員 鈴木 宏明 (日本平歯科 院長)

笠原 紳 (薬師堂歯科 院長)

佐藤 誠 (宮城県歯科技工士会 政連会長)

熊谷 美恵子 (宮城県歯科技工士会 副会長)

大久田 秀逸 (宮城県歯科技工士会 専務)

菅野 恭助

小松 勝

八巻 賢一

神永 聡

1 (1)30年度のシラバスについて

基本的なカリキュラムは平成29年度から変更はありませんが、企業との連携教育の部分での軽微な変更があります。

(2)自己評価の項目と内容について

4段階評価で各自アンケートに記入をしてもらい、各項目の平均点を出しホームページ上に公開しています。

(項目)		(前年度比)
教育理念	平均3.3	→
学校運営	平均3.2	↑
教育活動	平均3.5	↑
教育成果	平均3.3	↓
学生支援	平均3.4	→
教育環境	平均3.3	↑
学生募集	平均3.7	↑
社会貢献	平均3.4	↑
法令等の遵守	平均3.6	↑
財務	平均3.2	→

情報公開は単年更新とし、基本的には前年度の情報のみの公開としております。

2 企業との連携教育について

歯の解剖学 : 青山 誠 先生 (株式会社青山デンタルラボ) 講義および実習
矯正歯科技工学 : 草薙 恵介 先生 (くさなぎオーソテクニカル) 小児・矯正実習
小児歯科技工学 : 向山 雅彦 先生 (歯科ニュージャパン) 小児・矯正講義および実習

上記に加え

6月11,13,20,25,27日	木田 勝政 先生 (株式会社Kコンシェルジュ) 面接への心構えおよび、個別面接練習	2学年
6月30日	富沢歯科医院見学 技工施設の見学および機材の説明	2学年
11月8日	吉田 習二 先生 (ビジネス教育訓練所株式会社) 『社会人としての心構え』『社会人としてのマナー』	2学年
11月16日	今野 智之 先生 (山本貴金属株式会社) 陶材金属焼付冠実習	2学年
12月上旬	木村 美保 (株式会社 GC) ブラッシングセミナー	2学年
2月中旬	倉林 大作 (株式会社サクセスアンリミテッド) 『仕事の意義や目的モチベーションを上げる方法』	1学年

3 報告

(同窓会の50周年記念大会について)

来年度、本校の同窓会が50周年を迎えるにあたり記念行事を行う予定でいます。学校あつての同窓会なので学校と共催するという形で執り行う予定でおります。日程は7月21日、日曜日に会場は仙台駅近辺で考えております。

基調講演には桑田正博先生をお招きし、9名の卒業生によるリレー講演やシンポジウムを予定しております。規模は250名くらいで考えており、現在校友会の理事で話し合いを重ねているところです。

(最近の技工業界の現状について)

宮城県では色々な講演会や研修会を企画しているが、なかなか参加者が集まらずに苦労している。会員も高齢化しておりそういった面からも企画をしても難しい状況となっている。若い人に技工士会を活性化して欲しいが、若い人の加入率が悪くそれも難しい状況になっている。全国的にみてもどの地域も同じような悩みを抱えているようです。若い人たちが歯科技工が嫌になり辞めてしまうことのないような仕組み作りや勉強の場を設けて長くに続けていける職業にしたいです。

学校でも働き方改革に伴い、就職について保護者からの相談が増えてきている。今後は今まで以上に労働環境の整備がとても大切だと感じています。

(患者の高齢化について)

地域的なものもあるとは思いますが、多いです。若い人は大型商業施設に併設されている歯科医院での受診が増えている。自分で車を運転して歯科治療が目的ではなくても足を運べるのでそういう傾向があるのかもしれないが、高齢者は自分の行動の範囲内でいける歯科医院を受診する傾向にあるので、患者の年齢的分布にも地域差がある。

(歯科技工士を知らない人へどうやって周知していくか)

歯科医師会で歯科技工士をアピールできる映画を製作していて、来春くらいに公開するようですか、今の人たちは文章よりそういったyou tube等の映像で周知していく方が効果的に感じます。歯科医師会も技工士不足を懸念していて業界をあげて歯科技工士を増やそうとしている。

(技工士の現状と留学生について)

近年、技工士の初任給が上がってきていて大変に喜ばしいことではありますが、国内の技工士養成学校の閉鎖に伴い益々の技工士不足が懸念されるが、なぜ歯科技工士は留学生が免許を取得し国内での就労する事ができないのか。学校としては留学生を入学させるリスクはあるが、技工士学校の無い地域の歯科技工所から『人がいなくて仕事ができなくて困っていて今は仕事があっても断っている状況なんです』と相談を受けている状況です。

技工士を離職した人が復帰するにも日進月歩の業界で自分が働いていた時と変わりすぎていて二の足を踏んでしまうようです。

色々な団体が地方から声を挙げ、業界全体に労働環境や外国人の労働、職場復帰への支援等への取組みを本格的に考えてもらえるようにしていかないと益々問題は大きくなるばかりですね。